



妖怪マガジン『怪』と怪談専門誌『幽』が劇的に合体！！
 すべてのお化け好きに贈る、エンターテインメントマガジン

怪と幽

妖怪マガジン「怪」と怪談専門誌「幽」。「妖怪」と「怪談」という、似て非なるコンセプトを打ち出したふたつの雑誌が「怪と幽」に生まれ変わりました。「怪」「幽」両誌のブランドを受け継ぐと同時に、よりエンタメ性に主軸を置いた「怪と幽」独自の特集と強力な連載陣、そして、お化け関連の周辺情報なども掲載し、お化け好きの読者に贈るエンターテインメント・マガジンを目指します！

<料金表> 入稿日(完全データ入稿)：発売日25日前

広告 スペース	原稿サイズ 天地×左右(ミリ)	印刷	料金 (税抜)
表4	165×138	4Cオフ	500,000円
表3	210×148	4Cオフ	300,000円
中面	210×148	1Cオフ	150,000円

<媒体データ>

【発売日】年3回(4月、8月、12月)
 【予価】1800円(税別) 【判型】A5判
 【創刊】2019年4月24日
 【想定男女比】男性40%：女性60%
 【発行部数】20,000部

■Vol.009 2021年12月21日(火)発売号ご案内

ステイホームが呼びかけられ、家で過ごす時間が増えました。。そこで、「怪と幽」9号では、「家」を特集します。本来なら心休まる場所である「家」でナニかが起きたら……。憩いの場は一転して、恐怖の牢獄へと変貌することでしょう。近年、松原タニシ氏『事故物件怪談 怖い間取り』や雨穴氏『変な家』がベストセラーとなり、小説では弊誌で好評連載中の小野不由美氏による連作「営繕かるかや怪異譚」、澤村伊智氏『しりばの家』、アンソロジー『家が呼ぶ 物件ホラー傑作選』……といった濃厚な家系(いえけい)作品が注目を集めています。引き籠りがちないまこそ、我が家の“怪と幽”を味わいませんか？

「怪と幽」編集長 似田貝大介

【特集】 あやしい家

【対談】 辻村深月×大島てる、澤村伊智×松原タニシ

【寄稿】 雨穴、荒俣宏、一柳廣孝、加門七海、東雅夫

【レポート】 「成仏不動産」と事故物件 川奈まり子

【怪談実話】 吉田悠軌 【ブックガイド】 朝宮運河

◆連載 【小説】 京極夏彦／小野不由美／有栖川有栖／近藤史恵／恒川光太郎
／山白朝子／澤村伊智

【漫画】 諸星大二郎／高橋葉介／押切蓮介

【論考・エッセイ】 小松和夫／東雅夫／加門七海／村上健司 & 多田克己

【グラビア】 泉朝樹／芳賀日出男／佐藤健寿／怪食巡礼

【怪談実話】 村田らむ／鳴崎朝寝／岡利昌

◇情報コーナー◇ 押切蓮介×泉朝樹／波津彬子×山内麻衣子／伊藤龍平
／岩国物の怪地図研究会／藤川Q／谷原菜摘 etc…